

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学研究科
大項目	7 国際交流 (研究科)
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流) についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流 (国内外における教育研究交流) を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況 (院)

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 国際的研究交流方針の明示	→国際交流方針のホームページ、広報誌での明示の有無、英語版ホームページ開設の有無	C	C			
2. 他研究所合同による海外との学术交流の促進	→派遣および受入学生の有無	C	C			
3. 海外拠点校での教育支援活動の実施	→実施プログラム数 (セメスターに1回)	B	B			
4. 国際交流における学内他部局との連携の推進	国際交流における学内他部局との連携機関の設置の有無及びその結果としての受入学生数	D	C			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

★ 小項目 7.0.1	7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流) についての方針を明示しているか。 (方針明示の有無) いづれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない 社会の幸福に資するソーシャルリサーチ教育—ソシオリテラシーの涵養—の一環として国際発信能力を養成する。
	(説明) 社会学研究科が採択されているG P事業 (文部科学省大学院教育改革支援プログラム) 「社会の幸福に資するソーシャルリサーチ教育—ソシオリテラシーの涵養—」の中の「国際発信能力の涵養—国際連携プログラム—」についてホームページで公開し、毎年社会学研究科大学院生を対象に説明会を行い、参加者を募っている。
★ 小項目 7.0.2	7.0.2 国際交流 (国内外における教育研究交流) を適切に行っているか。 (説明) 社会学研究科が採択されているG P事業 (文部科学省大学院教育改革支援プログラム) 「国際発信能力の涵養—国際連携プログラム—」により、トリブバン大学に6名、オーストラリア国立大学大学院に8名を送り出した。また、海外での個人研究発表およびフォーラム参加にのべ6名を派遣した。
★ その他	

《評価指標データ》

(特定指標データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【社会学研究科】			単位	2006	2007	2008	2009	2010	2011	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	—	1	—	—	—	—		
指標2	国際交流協定締結国数		国	—	1	—	—	—	—		
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	累計数	
		外国人留学生	正規	人	4	9	8	6	5	2	・※5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・特別学生を含む
			交換	人	1	1	0	0	0		・累計数 ・交換は正規以外とする。 ・大学院短期留学を含む
		外国人留学生 在籍学生比率	正規	%	6.1	15.5	25.8	21.0	17.0	7.4	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	1.5	1.7	0.0	0.0	0.0		
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	—	—	—	—	—	—				
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	—	—	—	—	—	—	累計数	
		人数	長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	0	0	0	0	0		・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	—	—	—	—	—	—	・累計数 ・春・秋の合計	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)

(その他の指標)
協定校と相互交流数(学生・教員)
国別国際交流協定締結先機関数
国別留学生数(学部別)の経年変化

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目 7.0.1	
☆ 小項目 7.0.2	
その他	

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 7.0.1	
☆ 小項目 7.0.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目 7.0.1	
★ 小項目 7.0.2	
その他	

【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 7.0.1	
★ 小項目 7.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】《次年度に向けた方策》

★ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

研究科の行っている「国際連携プログラム」の説明会や参加者募集の努力が今後とも続けられるよう期待します。海外の大学への学生派遣や研究発表など進んでいます。なお、目標4がDからCになっていることの詳細な説明がなく理由がわかりません。説明があったほうが良いのではないのでしょうか。

【学内委員】

○国際交流はある程度活発に行われているようですが、外国人留学生が近年減少しています。設定した目標に向けた進展が期待されます。
○G P事業を中心とした国際交流の方針や国際交流の実施については積極的に行われており評価できます。ただし、研究科全体としての方針の明示や実施状況の説明については、さらに詳しい説明を期待します。

○昨年度の次のコメントは本年度もそのままコメントとします。

・GP事業に関連する国際交流についての現状説明はありますが、社会学研究科としての現状説明はなく、これについては改めて説明することが求められます。また、小項目の進捗評価の状況を見ても国際交流はあまり進んでいるとは言えず、積極的な改善を行うことが求められます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 7.0.2 社会学研究科が採択されているG P事業（文部科学省大学院教育改革支援プログラム）「国際発信能力の涵養－国際連携プログラム」により、トリバン大学に6名、オーストラリア国立大学大学院に8名を送り出した。また、海外での個人研究発表およびフォーラム参加にのべ6名を派遣した。また、本学の先端社会研究所と連携し、ドイツ日本研究所との交流を試みている。